長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2023 OCTOBER VOL.417

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



ドクターヘリとフライトナース、長崎の救急医療を支えています。

医長紹介
高度救命救急センター医長　日宇 宏之

明日を担う Vol.20
・内野 佳樹（フライトナース）

TOPICS
・新任医師紹介
・令和5年度院内災害訓練を開催して
・令和5年度永年勤続表彰式
・リーダー育成共同宿泊研修に参加して

長崎てんかん医療福祉ガイドブック

人生100年時代の予防医療
第4回　日本脳炎ワクチンについて考える

市民公開講座のお知らせ

冬の医学生見学会のお知らせ

ガーデニングだより Vol.9

院内さるく Vol.10 洗濯・ベッドセンター

今月の一皿

院長コラム　Vol.5

外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）
大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

高度救命救急センター医長　日宇（ひう）　宏之（ひろゆき）

自業自得
（良い事も悪い事も含めて）

日宇宏之



皆様、こんにちは。高度救命救急センターの日宇宏之です。佐世保市で生まれ、主に長崎市内で育ちました。長崎大学薬学部を卒業し薬剤師を経て、琉球大医学部へ進学し、沖縄を満喫して長崎医療センターへ初期研修医として入職しました。その後、当院救急科後期研修2年、大阪府済生会千里救命救急センター 3年勤務後、当院救急科に所属し現在に至っています。

専門は救急・集中治療になりますが、自分としては病院前救急医療や災害医療が好きなようです。病院前救急医療では、少ない情報や限られた医療資源の不利な状況のなか、効率よく診療し結果に繋げることが重要であると考えて活動しています。また、災害医療に関しては、準備が大切と考えています。毎年開催している院内災害訓練では、毎回課題が見つかり、マニュアルをバージョンアップさせています。昨年度は当院で初めてサイバー攻撃時対応訓練も行うことが出来ました。災害対策の準備は、災害が起こらず報われないことが良いと思いますが、万が一の場合に少しでも困らないように地道に準備していきたいと考えていますので、御協力宜しくお願い致します。

プライベートでは、ジョギングが趣味になり最近は主に大村市内を散策がてら走り、気に入った場所は写真に収めています。また、トレイルランニングの大会に出場したり、旅ランしたりして楽しんでいます。皆さんもいかがでしょうか？

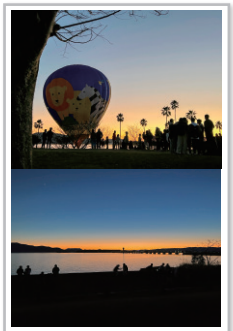


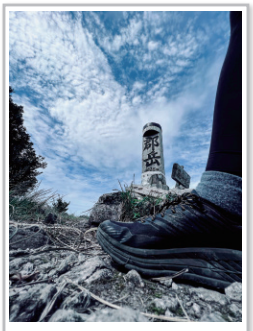

多良の森
トレイルランニング

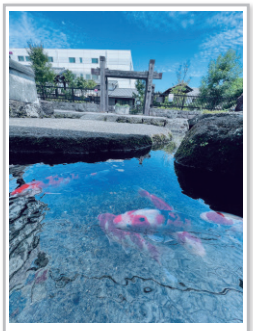


大村市内どこでしょうか？


久原分署でのEMTAC訓練


森園公園


郡岳


旅ラン 島原市内



保健相サミットへのDMAT派遣
長崎県庁

明日を担う

Vol.20

当院の“明日を担う”スタッフに、
work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。



フライトナース

内野（うちの） 佳樹（よしき）

profile

出身地：長崎県
好きな曲：人生ノート（平井大）

Q：フライトナースを目指されたきっかけを教えてください？

A：看護学生時代に当院の病院説明会に参加した際に、フライトナースがドクターヘリに乗り、出動する光景をみてあこがれを持ったのがきっかけです。看護師は病院内だけでなく、病院外でも活躍できることを知り、フライトナースを目指そうと決めました。

Q：フライトナースのやりがいは何ですか？

A：いち早く患者さんのもとに向かうことで治療の早期介入につなげられることだと思います。現場活動ではめまぐるしく時間が過ぎていきます。その中で看護師ができることは限られますが、すこしでも看護師の役割を果たせるように精進しています。

Q：月に平均何回位出動されますか？

A：その月で変動はありますが、約5－10回程度です。

Q：仕事で大切にされていることは何ですか。

A：高度救命救急センターに入室中だけでなく、退室後や今後の生活も見据えて早期に介入できるように心がけています。急性期の患者さんは、身体・精神・認知機能にも障害をきたし、ＩＣＵ退室後にＰＴＳＤを発症し、元の生活に戻ることができなくなる患者さんもいます。そのような患者さんを少しでも減らすことができるように先を見据えた看護を提供できるように努力しています。

Q：現在の働き方はいかがですか？

A：高度救命救急センター、ＩＣＵ、ＨＣＵ、救急外来と分野も多く、大変なことも多いですが、楽しく働くことができています。多忙な勤務の中、希望に沿って時間調整をしていただいている、師長・副師長さんに感謝しています。

Q：オフの時間の過ごし方は？

A：家にいることが多いですが、子供と遊んで過ごしています。

Q：今後のキャリアプラン、目標を教えてください。

A：まずは、まだまだフライトナースとしては半人前なので先輩方を見習い、フライトナースとしての質を磨いていきたいと思います。



TOPICS

新任医師紹介



総合診療科専攻医

大野（おおの）　渚（なぎさ）

1年間上五島と対馬の離島研修を経て帰ってきました。総合診療科専攻医として地域により貢献できるよう励んでいきたいと思います。よろしくお願いします。



小児科専攻医

瀬戸口（せとぐち）　麗沙（りさ）

10月から後期研修をさせて頂いております、瀬戸口麗沙と申します。長崎医療センターで初期研修をさせて頂き、3年ぶりに戻ってきました。ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、よろしくお願いします。



産婦人科専攻医

藤本（ふじもと）　拓也（たくや）

10月より産婦人科に赴任した藤本拓也と申します。臨床研修を沖縄県立中部病院で開始し、現在は医師5年目、産婦人科専攻医3年目です。母体周産期管理と婦人科疾患の手術に積極的に取り組んで参ります。多々ご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いいたします。

TOPICS

令和5年度院内災害訓練を開催して

火災災害対策委員会　日宇 宏之

今年も多くの方々のご協力を頂き、多数傷病者受け入れ訓練を行いました。無事終了致したことを感謝申し上げます。今年は活水女子大学の学生さんにも御協力を頂き、模擬患者ありの訓練を行い、臨場感のある訓練でした。訓練の評価項目である防ぎえた災害死は設定12名中2名（昨年は11名中5名）でした。また、カルテ記載率も概ね昨年より上昇していました。職員の皆様の災害に対するご理解・ご協力の成果と感じています。

しかしながら、目標はあくまでも防ぎえた災害死を無くすことです。そのために、現在の受け入れ体制の見直しを行い、来年の訓練ではバージョンアップした体制での訓練を考えていますので、これまで以上にご協力宜しくお願い致します。











TOPICS

令和５年度永年勤続表彰式

この度国立病院機構において３０年および２０年勤続された方々への永年勤続表彰式を、9月２５日に行いました。表彰されました当院職員の皆さま、本当におめでとうございます。



《３０年勤続表彰者》

酒本　　司	（診療放射線技師長）	岩崎　　貴	（洗たく長等職員）
副島　　猛	（看護師）	川良美和子	（看護師）
安永　真弓	（看護師）	金子　尚子	（看護師）

《２０年勤続表彰者》

青木　幹弘	（新生児科部長）	小森　敦正	（難治性疾患研究部長）
藤岡　正樹	（機能形態研究部長）	小野　智憲	（脳神経外科医長）
西山　　仁	（消化器科医長）	山口美知子	（麻酔科医長）
寺下　真吾	（主任臨床工学技士）	金原　沙織	（調剤主任）
因幡　朱理	（副検査技師長）	西田　美香	（看護師長）
満尾いづみ	（副看護師長）	下釜　絵美	（副看護師長）
清水　祥子	（看護師）	土井　香織	（看護師）
古川　一美	（看護師）	光武　由佳	（看護師）
村上由記子	（看護師）	石橋　和子	（看護師）
石丸　千裕	（看護師）	堤　　純子	（看護師）
田中千恵子	（看護師）	永野　理英	（看護師）
髙田　志穂	（看護師）		

合計２９名（敬称略）

TOPICS

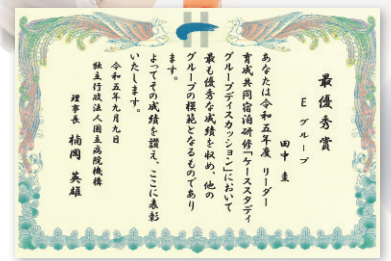
リーダー育成共同宿泊研修に参加して

医療相談支援センター係長　田中 圭

この度、リーダー育成共同宿泊研修に参加してきました。当研修の目的は、医療の向上や健全な経営等、国立病院機構が目指すものを理解し、それを推進するにあたって必要な知識・スキルを修得することです。とても静かな神奈川県湘南の山の上で、同じ国立病院機構の様々な職種の皆様と共に、これからの国立病院機構について考えることが出来ました。

２日目のケーススタディグループディスカッションにおいては、実際の国立病院機構の施設について、それぞれの地域の地域医療構想、その進捗状況などを分析し、病院の強み・弱みの具体を明確にした上で、地域に求められる病院になるための戦略を検討しました。その結果、当グループが最優秀賞をいただきました。そのディスカッションの中で、明日の国立病院機構を考える仲間が日本中にこんなにいるんだと改めて痛感し、とても心強く嬉しく思いました。この度は、このような貴重な機会をいただきまして誠にありがとうございました。



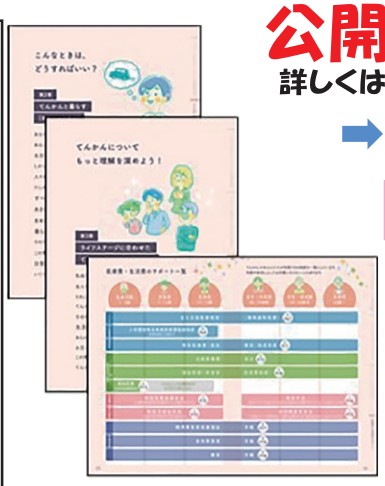






長崎てんかん医療福祉ガイドブック





公開中！ WEB版

詳しくは検索

長崎　てんかん　ガイド

アンケートにご協力お願いします

てんかんのある人、そのご家族への
今後の支援に生かしていくために
アンケート調査に、
ご協力をお願い致します。

上記QRコードからご回答ください。

冊子版も無料配布中(注)

YouTube®もあります!

(注) 長崎県てんかん地域診療連携ネットワーク参加医療機関でも申し込みできます。

人生100年時代の

予防医療

～あなたらしく生き抜くために～

第4回　日本脳炎ワクチンについて考える

総合診療科医師　鳥巣 裕一



日本脳炎は、日本を含め東南アジアに多い疾患です。日本脳炎ウイルスに感染して発症しますが、そのウイルスを運んでくるのが「蚊」です。主に蚊がブタの血中にいるウイルスを吸血し、その後ヒトを吸血することで感染します。日本でも1960年代までは蚊の活動する夏から秋にかけて多く発症しており、年間数百名ほどの報告がありましたが、ワクチンが出てきて接種されるようになると1992年以降は年間数名まで減少しました。ワクチンは発症率を70～90％ほど減らすとされています。

日本脳炎の発病率は100～1000人に一人と言われていて、発熱・頭痛・嘔吐・意識障害などの症状がみられます。無症状の方もいますが、脳炎を起こした場合の死亡率は20～30％で、約半数に後遺症をのこします。脳炎症状が出た時点ですでに脳細胞は破壊されており、特異的治療法はありません。

日本脳炎ワクチン接種後にADEM（急性散在性脳脊髄炎）で死亡した症例があったため、ワクチンの積極的勧奨が行われなかった世代がいます。その後の研究でワクチン接種していてもしなくても、ADEMの発症率に差がなかったことから、因果関係については弱いとされています。なお、現在はワクチンも新しくなっていますし、やはり罹患したときの重症度および治療法がないという点からもWHOは接種を推奨しています。

ワクチン接種は3歳で2回、4歳で1回、9～12歳で1回行うことが一般的ですが、上記のごとく積極的勧奨が行われなかった世代はキャッチアップといって再度スケジューリングすることで接種することが可能です。**1995年4月2日～2007年4月1日生まれ**の方は20歳まで公費対象になりますので一度かかりつけ医に相談してみてもいいですね。また、世代によっては他のワクチンも抜けていることがあるので母子手帳を見直してみることも大事ですよ。

一般社団法人　日本肝臓学会主催　肝がん撲滅運動

市民公開講座のお知らせ

入場無料
定員100名
（先着順受付）

お申込みは
こちらの
QRコードから

講演1　**人生100年時代のSTOP慢性肝臓病!**
長崎医療センター 臨床研究センター　小森 敦正

講演2　**肝臓がんの薬物療法**
長崎大学病院 消化器内科　佐々木 龍

日時　令和5年 **11月16日㊍** 15:00～16:00（開場14:30）

場所　**長崎医療センター（2階）あかしやホール**
病棟エレベータ（面会受付横）で２階へお越しください。順次案内板がございます。

司会　**小森　敦正**

※事前のお申し込みがなくてもご参加いただけますが、QRコードからのお申込みを優先します。
当日は先着順で受付をさせていただき、定員(100名)になり次第締め切りとさせていただきます。
電話ではお申し込みいただけません。
※講演の最後に質問コーナーがあります。
※長崎医療センターYouTubeチャンネルにて2023年12月以降、本講演の動画を配信します。



冬の医学生見学会のお知らせ



冬の医学生見学会を開催いたします。
お気軽にお問合せください。

【対　　象】医学部4・5年生

【見学期間】**2023年12月12日（火）～12月22日（金）**
※火曜～金曜日

【募集学生人数】1日に5名程度。

【応募期間】2023年12月1日（金）より募集開始

【申込方法】当院ホームページをご覧ください。
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/



ガーデニング便り Vol.9



今回紹介するのは、秋バラです。秋バラとは特定の品種を指す言葉ではなく、秋に咲くバラのことで、一般的には「四季咲き」のバラのようです。春にあでやかに咲きほこるバラも素敵ですが、秋のすがすがしい朝にひっそり咲く、一輪の色合いが際立ったバラも大好きです。

副院長　黒木 保



院内さるく

Vol.10 洗濯・ベッドセンター



洗濯・ベッドセンターでは病棟で使用したクッションや抑制帯、カーテンの洗濯や交換に加え、ベッドの清掃や病棟のベッドメイキングと幅広い業務を行っています。

院内での衛生環境を保つため、枕やクッション、ベッドに付着した菌や血液の汚染を除去し、患者様に安全で清潔な環境の提供が出来るように日々業務に邁進しています。

現在職員と委託業者合わせて11名で業務を行っています。洗濯物やベッドで困りごとや相談があれば気軽に声をかけてください。

今月の一皿

ミルフィーユのあんかけ



#2023　行事食　十五夜

ミルフィーユは、フランス語で「mille：千」+「feuille：葉」が組み合わさってできた名前です。



栄養管理室
津田 美怜

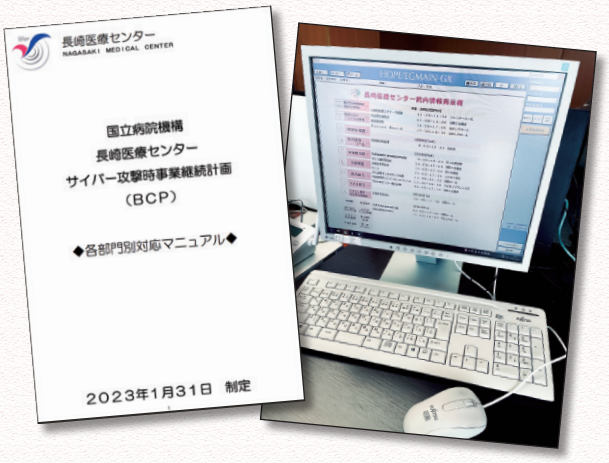
ミルフィーユのあんかけ
～基本レシピ～

材料（4人分）	使用量
キャベツ	4～6枚
合い挽き肉	250g
玉ねぎ	1/4個
パン粉	大さじ8
牛乳	50cc
鶏卵	1/2個
食塩	小さじ1/5
こしょう	少々
しめじ	30g
シイタケ	2個
赤ピーマン	1/2個
黄ピーマン	1/2個
和風だし	小さじ1
薄口しょうゆ	大さじ2
片栗粉	大さじ1

院長コラム

国立病院機構長崎医療センター
院長　八橋 弘

Vol.5　危機管理



9月25日の月曜日の早朝、副院長から私の携帯に連絡が入りました。「院長、電子カルテが深夜2時頃からログインできず、電子カルテを用いた診療が停止しています」病院に到着後、関係者を集めて情報を収集しました。当直師長は、不具合が発生してからの経過を記録し、使用可能な電子カルテ端末の台数を調査し書き記しました。当院情報センタースタッフ、電子カルテ業者も早朝から現状把握、原因検索、早期復帰に向けて動き始めました。しかし、もう少しで外来が始まります。この時点で明確となったのは、電子カルテ機能は温存されているが、多くの端末はログインできない状況にあること、その原因が不明なこと、復旧の目途が未定なこと、などでした。しかしその一方で、端末総数の約10％は使用可能なこと、部門システムは機能していることも掌握できました。

以上の情報から朝9時半の時点で事業継続計画（BCP）に沿ってカルテの運用を紙カルテに変更することを決定し、診療科責任者と病棟/部門責任者を集めて現状報告と今後の対応について説明しました。「しばらく通常の診療がおこなえないこと」「手術や治療処置の延期、外来診療の抑制が必要なこと」そして最後に「様々な葛藤の中においても、患者の命を最優先して物事を考え判断するように」職員へ伝えました。

外来では、患者さんの受付と呼び出し、診療と記録に至るまでの全ての作業が手作業となり、数十メートルに渡って患者さんの行列ができました。「電子カルテシステムが使用できず紙カルテ運用に移行したこと、診療に時間を要し待ち時間が長くなること」などの説明と謝罪に関する全館放送を30分ごとに流しました。患者さんには多大なご迷惑とご負担を強いることとなりました。帰宅いただいた患者さんもおられます。しかし、昼過ぎには、これらの混乱は徐々に緩和されてゆきました。私は、各病棟と各部門はどのような状態になっているのか様子を見に行きました。そこには、限られた端末と紙を用いながら、できるだけ通常の医療をおこなおうと懸命に努力している多くの職員がいました。

この状態がいつまで続くのか不確かな中で、その日の夜を迎えました。20時過ぎ、私の携帯に「ログイン障害が解除され、電子カルテシステムの運用が可能、通常診療に戻りました」という一報が入りました。「良かった！！」おもわず声が出ました。こうして18時間に渡る病院の危機的状況は解消されました。

今回の事例の検証は、再発防止と危機管理の観点からも継続的におこないます。その一方で、今年の3月、当院ではサイバーテロ攻撃を想定してBCPを作成し、電子カルテのシステムダウン下の紙カルテ運用の訓練を実施していました。また、不測の事態が起きても冷静に現状を把握し、その時点でできることを考えて適切に対処した多くの職員がいました。病院の危機管理を、平常時からどのように考えていたのか、どこまで準備していたのか、今回試されたような気がしています。

最後に、多くの患者さんに、ご迷惑とご負担をおかけしました。深くお詫び申し上げます。しかし、この病院の危機的状況に、最も深い御理解と御協力いただいたのも患者さんでした。今回、患者さんも含めた皆さんで病院を支えていただいていると実感しました。有難うございました。

外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和5年11月1日現在

		月	火	水	木	金
総合診療科		当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科		★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★松本　耕輔 ★山﨑　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	八橋　弘 ★小森　敦正 ★山﨑　一美	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科		★西山　仁	★後藤　高介 ★三根　祥一郎	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科		★安井　順一 ★柿田　実紀 明島　淳也	★明島　淳也 安井　順一 柿田　実紀	★安井　順一 明島　淳也	★明島　淳也 安井　順一	
腎臓内科		★岡　哲 山下　由恵		★荒木　慎平 岡　哲	山下　由恵	★山下　由恵 荒木　慎平
循環器内科	午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
	午後	★鶴川　晃二郎	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科		★原　敦子 池田　喬哉	★峯　慧輔	近藤　晃 ★池田　喬哉	★瀬戸口　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科		小林　裕児 ★榊　智佳	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	今泉　芳孝 ★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★西村　紗央里
脳神経内科（神経内科）		★岩永　洋 佐藤　和明（てんかん）	★忽那　史也	★足利　裕哉 徳田　昌紘（再診のみ）	★徳田　昌紘	★佐藤　和明
膠原病・リウマチ内科		★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科	午前	★末永　英世（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★山田　洸夢（第2・3・4） （心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 桑原　義典（第1）（心臓）	★安　忠輝（神経） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★濱口　陽（新生児・乳児） ★石川　太郎（一般） 田中　茂樹（神経） 本村　秀樹（心臓） ★石橋　信弘（心臓・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★山田　洸夢（心臓・一般）	★西口　亮（第1・3・5） （新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★山口　倫人（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経） ★白石　亮（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般）
	午後	★小児外科（第3週） 本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
精神科		★倉田　青弥 蓬莱　彰士	★倉田　青弥 蓬莱　彰士 志方　有莉	★蓬莱　彰士	★蓬莱　彰士 志方　有莉 倉田　青弥	★志方　有莉 倉田　青弥
皮膚科	①外来紹介・新患	★石川　博士	★里見　直義	★石川　博士	★里見　直義	★深水　文惠
	②旧患	里見　直義	石川　博士	深水　文惠	石川　博士	里見　直義
	③入院中の紹介	深水　文惠	深水　文惠	里見　直義	深水　文惠	石川　博士
外科		★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★杉山　望（乳腺・内分泌外科）	★北里　周（肝・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★杉山　望（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科				★田川　努 ★朝重　耕一		
緩和ケア科			濵脇　正好	濵脇　正好	濵脇　正好	
心臓血管外科				★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志 濵脇　正好（再来のみ）
脳神経外科		★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午前　原口　渉 午後　内田　大貴	★小野　智憲 ★吉田　道春
整形外科		★宮本　俊之 山口　圭太	向井　順哉（★第1・3・5） （再 第2・4） 大場　陽介（★第2・4） （再 第1・3・5）	★大場　陽介 熊谷　謙治	★花谷　拓哉 向井　順哉	★森　圭介 向井　順哉（第1・3・5） 山口　圭太（第2・4）
リハビリテーション科		森　圭介	大場　陽介	向井　順哉	花谷　拓哉	宮本　俊之
形成外科		★藤岡　正樹 ★古賀　一史	★出光　茉莉江	★福井　季代子	★藤岡　正樹 ★出光または古賀	★福井　季代子 ★出光または古賀
産婦人科		★古賀　恵 ★福田　雅史	★安日　一郎 ★山下　洋	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子	★福田　雅史 ★レジデント（安日　一郎）
泌尿器科		★大仁田　亨 錦戸　雅春	松屋　福蔵	★錦戸　雅春	★岩田　隆寿	★大仁田　亨 ★柿田　聖大
移植後フォローアップ外来		錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春	岩田　隆寿	大仁田　亨
耳鼻咽喉科		★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★二宮　直樹 沖田　奈菜	★森　彩加	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★二宮　直樹	★吉田　晴郎 沖田　奈菜	★田中　藤信 ★森　彩加
眼科		★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★斉藤　淳哉 ★諸岡　美智子（9:00-16:00）	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★斉藤　淳哉 ★諸岡　美智子（9:00-16:00）	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★斉藤　淳哉 ★諸岡　美智子（9:00-16:00）
放射線科（治療）			★中村　太祐 武田　達哉			★中村　太祐 武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.417